

## 令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市長 (学校園名) 学校協議会

## 1 総括についての評価

運営に関する計画で示された取り組みは、概ね計画通りに実施され、成果も認められる。若手教員も新しいことにも積極的に取り組み、教職員全体が一つになって取り組んでいる。そのた、取り組んできた成果が少しずつではあるが実を結んできた。運営に関する計画を常に PDCA サイクルで実態把握し、点検・改善をしながら年間を通して遂行してきたことで、学校全体が非常に落ち着いた環境となり、何事にも取り組める雰囲気につながっている。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 81%以上にする。(R6 80%)
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
(R5 5.3%→R6 5.0%)
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
(R5 1.1%→R6 1.7%)
- ・年度末の児童アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的回答を例年同様に 90%以上を維持する。(R6 89.5%)
- ・年度末の児童アンケートにおいて「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R6 79.4%)
- ・年度末の児童アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上を維持する。(R6 98.6%)

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 36%以上にする。(R6 35.2%)
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R6 74.9%)
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R6 68.7%)
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 67%以上にする。  
(R6 66.6%)
- ・小学校学力経年調査における「国語(算数)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度と同等以上にする。(R6 国語 64.9%、算数 52.8%)
- ・漢検の合格率を昨年度と同等以上を達成する。(R5 74.3%→R6 69.1%)
- ・英検 Jr.を4年生以上の児童が受検し、ブロンズ、シルバー、ゴールドの各級受検者の平均点

が、それぞれ全国の平均点並みにする。R6 ブロンズ(本校 81、全国 81)、シルバー(本校 84、全国 84)、ゴールド(本校 78、全国 74)

- ・複数の小学生新聞を活用し、朝学習等で視写に取り組む。小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか。」に「そう思わない」(難しいと思わない)「どちらかといえば、そう思わない」(どちらかといえば、難しいとは思わない)と答える児童の割合を41%以上にする。(R6 40.6%)

#### 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の50%以上にする。(R6 20.1%) ※1年生は2学期から開始する。
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を85.8%以上にする。(R6 85.7%)
- ・学習者用端末を活用した学習を週2回以上実施する。
- ・児童アンケート「道徳科の学習で、しっかり考えることができた」の項目で肯定的回答を昨年度と同等以上にする。(R6 94%)
- ・校内研修を活性化させ、若手も経験年数の多い教員も一丸となって「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進する。
- ・「特色ある図書館の活用」の実現を図る。
- ・読書活動の推進を図り、児童アンケート「本をよく読んでいる」の項目において、肯定的回答を昨年度と同等以上にする。(R5 71%→R6 71%)
- ・生涯学習ルームや地域活動協議会との連携による安全で安心な教育コミュニティを形成する。

- ・いじめについて折に触れて話していくことで、いじめを許さない意識がたかまっていくな。
- ・大阪市小学校学力経年調査では、問題と解答用紙が別々のテスト形式になれるために、1回程度練習を行っている。
- ・児童アンケートの「本をよく読んでいる」の項目は、判断基準が主観的なので、数値にして実際にどのくらい読んでいるかわかるようにしてはどうか。
- ・体育行事などで、自動は運動に親しんでいるが、普段の休み時間に外に行かない児童が外で遊ぶ習慣をつけるための具体的な取組を考える必要がある。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

学校としての成果は上がってきており、児童は落ち着いた雰囲気の中で学習や活動に取り組むことができている。また、教員は児童が安心して充実した学校生活を送ることができるよう積極的に新たなことに取り組もうとする空気ができている。今後はこれらをどのように維持していくかが課題である。